



# 森林へようこそ!

森の中で何が見つかるかな?  
何をかんじるかな?  
楽しいことや発見があるかな?

小さいけれど本物の森で、  
楽しいひとときを・・・  
森の風を感じて、  
心を開放するひとときを・・・

# 松戸の森のはなし



矢切の斜面林

## 森って いいよね！

わたしたちは森の緑を目にしたり、鳥のさえずりを耳にしたりすると心が癒されます。森は空気をきれいにし、夏には涼しい風を生み、小鳥や虫たちの生きる場所でもあります。虫捕りをしたり、ドングリをひろったり・・・子どもたちにとって楽しい遊びや体験の場でもあります。



新緑の森(オープンフォレスト2015)

## 残いわずか・・・松戸の樹林地

かつては人々の暮らしを支えていた里山の樹林地・・・適度に人手が入ることで守られ、いろいろな生き物の“命輝く自然”がありました。しかし松戸の樹林地は減り続け、現在ではほんのわずかな面積となりました(2015年度には104ha、市域の1.7%)。都市部に残されたわずかな森は今や“地域の宝”です。

## 所有者の現状

先祖から引き継いだ森を、そのまま残したいという思いで持ち続けていても、今では何の経済的価値も生み出しません。そればかりかゴミの不法投棄や近隣住民からの苦情など、苦労が大変多いのです。

仕事を持っていたり高齢だったり、思うように森の手入れができていない状況です。



森の中には不法投棄のゴミが散乱

## 緑を愛するひとびとの動き

生き物たちをはぐくむ森を何としてもそのまま残したいという所有者の思いから、公益財団法人に寄贈された「関さんの森」では、その森を保全するため1998年市民グループが活動をはじめました。

樹林地の減少を何とかくい止め、緑を守りたいという思いは、市民、所有者、行政共通のものです。



関さん宅と屋敷林

2002年森の所有者は「松戸ふるさと森の会」を設立しました。

また行政も2000年、条例に基づき「緑推進委員会」を設け、この委員会において「里やまボランティア入門講座」が2003年に始まりました。

その後講座は市民と行政との協働で毎年行われ、その修了生が、所有者の理解・協力と行政の応援を得て森の整備活動を行っています。勉強会を行ったり情報を共有する仕組みを作ったりと、自主的な活動が広がっています。また、市の公園や緑地でも市民ボランティアが頑張っています。

また行政は市内の樹林地について緑の条例による「保全樹林地」「特別保全樹林地」の指定を推進し、重要な樹林地については都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」に指定し、将来に渡って保全しています。(現在、矢切、栗山、幸谷の3地区)



里やまボランティア入門講座



ボランティアによる整備活動

## オープンフォレスト in 松戸の開催

市民に身近な森を知ってもらい、楽しんでもらい、その素晴らしさを感じてもらおうという、日本で初めてのイベントです。2010年市民ボランティアの発案で実行委員会が立ち上がり、2012年から森の所有者の理解と行政の力強い協力を得て行われてきました。今年で5回目の開催です。



田植え体験



本気で虫捕り



タケノコ掘り



この葉っぱやわらかいねー



授業で

# 森での体験



森の楽校で



何か いるよー



高校生が大活躍



お父さんの休日

あそび  
まなび  
いやし



自然観察



初めてのソコギリ



森の音楽会



朝のミーティング



竹林整備



下草刈り

# 森の活動

あなたも  
森の仲間  
になりませんか？



炭焼き



おちば掃除



いこいのひととき



クラフト



キッズ隊の活動



安全講習会



仲間との懇親



不法投棄とのたたかい



湧水池の清掃

# 森の自然とは・・・

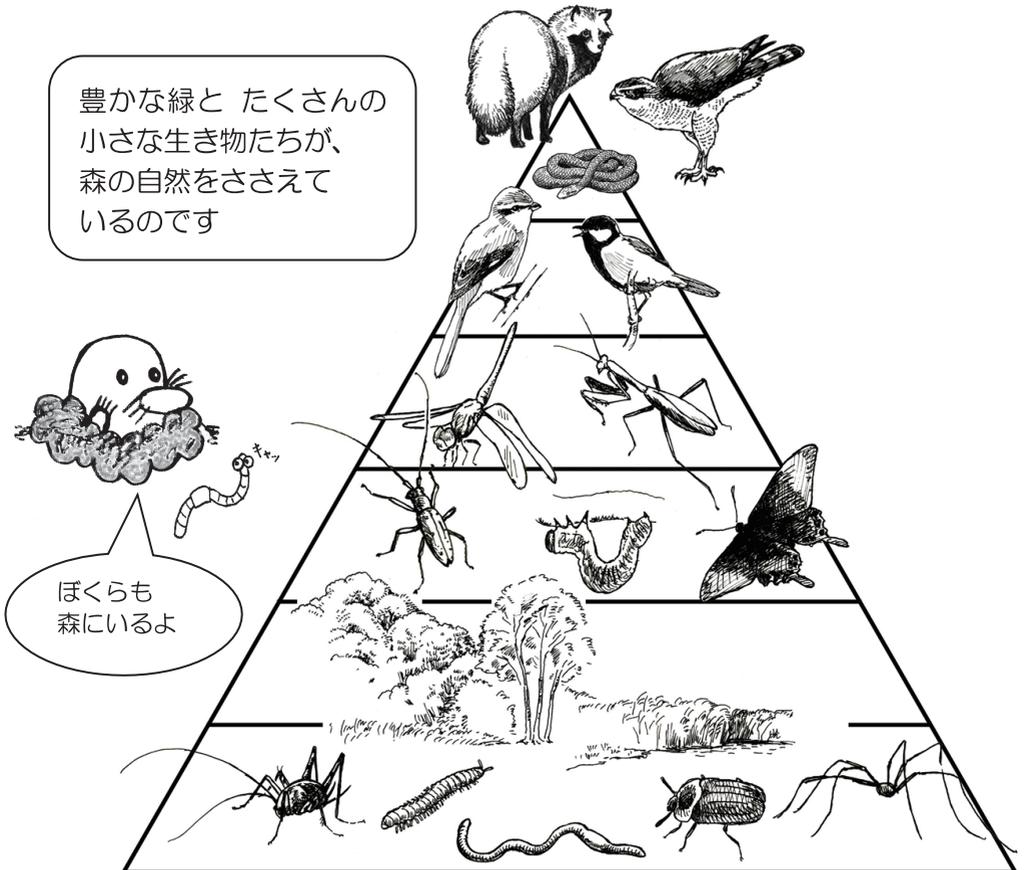
## 森の生態系・・・いろいろいるから森なんだ！

木がたくさんあるだけでは森とはいえません。背の高い木、背の低い木、樹の下の草やコケ、落葉の層、フカフカの土、そしてそこにたくさんの生き物がいていて、初めて“森”と呼ぶことができるのです。

## 命のつながり・・・嫌われ者も役立っています！

森には、【木や草】→【蛾の幼虫】→【カエル、カマキリ、小鳥】→【オオタカ、フクロウ】のように、“食う食われる”の命のつながりがあります。

落葉や枯れ枝、動物の死骸や排泄物を分解する生き物も含め、不要なものは何ひとつありません。蛾やクモなどヒトからは嫌われがち生き物も棲むことで小鳥たちも子育てできるのです。



生態系ピラミッドの例（絵：平岡考）

# 5月の森で見つけよう!

(森によって、その時によって、見られるものはちがいます)



**コナラ**  
細長いドングリのなる木。木肌と葉の形で探してみよう。



**コゲラ**  
キツツキの仲間。枯れ枝に巣を掘り、虫をエサに子育てをする。ギ〜と鳴く。



**エゴノキ**  
明るい森や林縁部でたくさんの花をつける。花はハナバチの訪問を待っている。



**ベニカミキリ**  
幼虫は竹を食べて育つカミキリムシの仲間。成虫は花の蜜にやってくる。



**フジ**  
高いところで花を咲かせていて見えないが、林床に落ちた紫の花で気づくことがある。



**ナガサキアゲハ**  
最近よく見かけるようになった黒いアゲハ。後翅の突起が無いのが特徴。



**カジイチゴ**  
モミジイチゴ、ナワシロイチゴなど、林縁や道端でイチゴの果実が宝石のように輝く。



**オナガグモ**  
クモの糸に引っかかった松葉にしか見えないが・・・クモをまちぶせして食べる。



**ウグイスカグラ**  
林内の低木。春先に小さなピンクの花を咲かせ、5月に透明感のある美しい実がなる。



**ムラサキケマン**  
花は終わって実の季節。この実に触ると、ハウセンカのようにパチッとほじけて種子が飛び散る。

## 《森には発見がいっぱいあります》

森には発見がいっぱいあります。森には木がたくさんありますが、木の中にも高いものや低いもの、太かったり、細かったり、また木の葉っぱも、丸めで広いもの、細長くて針のようなもの、つやつやしたものやざらざらしたもの、大きな手のひらのようなもの、においをもつものなどさまざまです。また森では思いがけないところにきれいな花が咲いていたり、落ちていくわいらしい木の実を見つけたりします。



森に入ると、そこをすみかとするヘビ・トカゲ・カエルなどの動物や、葉っぱを食べる昆虫や木の幹をかじる昆虫、そしてそれらの昆虫や木の実を食べる小鳥、さらにその小鳥をねらうタカなどの大型の鳥など、さまざまな生き物たちにも出会うことがあります。また、森のふかふかした土や落ち葉の中には動物の死体を食べるシテムシや落ち葉を食べるミミズやダンゴムシ、それに落ち葉や枯れ枝などを分解(ぶんかい)するキノコのもとになる菌類(きんるい)など、小さな生き物もたくさん住んでいます。

このように森は多くの生き物に住むところや食べ物を提供しています。でも一方で、森の木も成長するためには土の中の養分が必要です。その養分を含んだ土は、鳥などの動物の死体や、枯れた枝や落ち葉などを土に戻すはたらきをする小さな生き物とキノコなどの菌類などははたらきによってつくられています。森は、たくさんの生き物の生活を守っており、そしてたくさんの生き物が森を守っていると云えます。



さあ、そんな森に入って何か新しい発見をしてみましょう。

(文・絵 栗田吉治)

# こどものページ

## どんぐり…みつけた!

もっているだけで、なんだかうれしくなる♪  
みんなが森でみつけたどんぐりは何かな?  
まるいかな? ほそながいのかな?  
どんなかたちをしているどんぐりかな…でもね、  
「どんぐり」というなまえの木はないんだよ。  
日本にはどんぐりのなかまはやく20種類あるんだ。

## よくみかけるどんぐり



スダジイは生で食べられるけれど、  
「あく」のあるどんぐりが多いから食べかたには注意しよう!  
クヌギの樹液は虫たちの大好物。  
ミズナラは山の動物たちに人気のどんぐり。  
どんぐりの葉っぱのかたちや大きさもいろいろだね。

## どんぐり博士をめざそう

どんぐりをひろうときは、実だけではなく  
「カト」や葉っぱもひろって種類をしらべるといいよ。

やくそく 森に入るときは大人といっしょにね!!



「カト」はどんぐりが入っている  
おわんのようなものをいいます。

秋にまた森において、いっしょにどんぐりであそぼう

(文・絵 浦野和子)

# 森でやってみよう

やってみて、どうだったかを<sup>か</sup>書いてみよう

① <sup>もり</sup>森の<sup>くわい</sup>空気を、<sup>むね</sup>むねいっぱい<sup>しんこきゅう</sup>深呼吸しよう

② どれか1本の木を<sup>えら</sup>選んで、まずごあいさつ(ハグしよう)  
その木によく<sup>なまえ</sup>あう名前をつけて、はなしかけよう

③ <sup>もり</sup>森の<sup>じめん</sup>地面に<sup>ねころ</sup>寝転がるか、ハンモックにのって、<sup>そら</sup>こずえと空をながめよう

④ <sup>もり</sup>森の<sup>なか</sup>中で、<sup>きい</sup>あなたのお<sup>い</sup>気に<sup>なに</sup>入りの何かをはっけんしよう

⑤ <sup>もり</sup>森を<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>じぶん</sup>するために、<sup>かんが</sup>自分の<sup>できる</sup>できることを<sup>かんが</sup>考えよう

# 森のビンゴゲーム

しかく なか もり み  
四角の中のものを森でさがして、見つかったら○を付ける。

たて いちれつ  
縦ヨコななめ、一列できたら 1ビンゴ。

さて、いくつビンゴができるかな？

とり こえ 鳥の声	かたち ハートの形	うずまき かたち 渦巻の形	だれ 誰かの た あと 食べ痕
スベスベ なもの	においの するもの	かたい は 葉っぱ	おお 大きな は 葉っぱ
えがお	さいている はな 花	トカゲ	き 木の あか 赤ちゃん
キラキラ なもの	もり かぜ 森の風	クモ	むし 虫

## 松戸の里山に関する団体などの紹介

今回オープンする森で活動しているグループは当ガイドブック後半で紹介しています。その他にも以下のようなさまざまな人たちが、緑を守る活動や仕事をしています。

### 松戸ふるさと森の会

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

残された緑を守り、貴重な自然環境を次世代に引き継ぎたいと願う山林所有者の団体。平成14年5月に結成。都市環境保全林に関する国への陳情、視察研修会など。

### 松戸里やま応援団連絡会

(連絡先:345-6086 野口功)

「里やまボランティア入門講座」の修了生が設立した里やま活動団体の連絡組織。共通する課題の協議やステップアップ講座などを実施している。

### 松戸里やま応援団 樹燦々の会

(連絡先:710-7796 池上義行)

2015年の「入門講座」を終了したグループ。人数は少ないが自然に興味津々のメンバーも多く、先輩の協力を得て実地研修を積み重ねつつフィールド活動を目指している。

### Save the Green @Akiyama

(連絡先:090-6472-2131 西マリヤン)

毎月第2土曜日に「秋山の森」で季節を感じるイベントを企画し、同時に森のお手入れ活動を行っている。「森育あそび教室」等を通じ若い世代に積極的に参加を呼び掛けている。

### 緑のネットワーク・まつど

(連絡先:090-2935-9444 高橋盛男)

豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることを目的に、2000年に発足。観察・学習ツアーを年4回実施。市内のみどりに関する情報を掲載した通信を発行している。

### 関さんの森エコミュージアム

(連絡先:090-9156-4960 木下紀喜)

長い時間をかけて形成されてきた関さんの森の自然と歴史遺産をそのまま保全し、生きた形で自然や文化を体験学習する場として整備・活用することを目指している。

### 千駄堀を守る会

(連絡先:090-4667-0209 山田純稔)

市内で最も自然が残る千駄堀地域(現「21世紀の森と広場」)の豊かな生態系を守るために作られた自然保護団体。毎月第四日曜日に自然観察会を実施し記録を残している。

### 金ヶ作の森を育む会

(連絡先:090-2935-9444 高橋盛男)

2002年から金ヶ作の森で活動してきたが、現在森での活動は休止中。

### 松戸市みどりと花の課

(連絡先:366-7378)

樹林地の保全、街路樹・公共緑地等の管理、民有地の緑化推進、緑のボランティアの育成などを行っている。

## 松戸市公園緑地課

(連絡先:366-7380)

公園緑地の計画、新設、改良、維持及び運営管理に関する業務を行っている。市民との協働による事業展開も図っている。

## 松戸市緑推進委員会

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

緑の保全及び緑化の推進に関する基本的事項を調査審議する市長の諮問機関。第一回の里やまボランティア入門講座を実施した。

## みどりの行動会議

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

松戸市みどりの市民憲章を普及・定着させるため、イベント等を企画・実践している市民ボランティアの集まり。「木や花に名札を付けよう」「みどりのマップ作り」などを行ってきた。

## (公財)松戸みどりと花の基金

(事務局:710-2851)

市民参加で都市緑化を進め、緑豊かな潤いと安らぎのある健康的で住みよいまちづくりの推進を目的として設立。みどりと花のフェスティバル等を行っている。

## オープンフォレスト in 松戸 実行委員会

(事務局:090-1209-2254)

みんなで協力してオープンフォレスト in 松戸を開催しています。

実行委員長:柳井重人(千葉大学)

構成団体:松戸ふるさと森の会、松戸里やま応援団一起の会、同囲いやま森の会、同三樹の会、同四季の会、同里やまV・千駄堀、同小浜の森の会、同七喜の会、同八輝の会、同里やまQ、同みなみの森の会、同樹人の会、松戸里やま応援団、河南環境美化の会、金ヶ作の森を育む会、関さんの森を育む会、溜ノ上レディース、根木内歴史公園サポーター・根っ子の会、緑のネットワーク・まつど。

### 松戸みどりの市民憲章

私たちのまわりには、樹木、草花、水、土、空そしてさまざまな生きものから構成されるみどりが存在しています。私たちは、自身と輝かしい未来を担う子どもたちの幸せのために、これまで育まれてきたみどりの財産を分かち合い、守り育て、豊かにしていきます。そのために、市民・企業・行政の三者が、それぞれの立場において、みどりのもたらす恵みに想いをはせ、自覚と責任、対話と協働に基づいて行動します。

1. 松戸市民はみどりと暮らす豊かさを大切にします。
1. 千年来のみどりの声に耳を傾け、百年後のみどりを育てます。
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。

平成 16 年 10 月 1 日制定